

平和のためにできること



少しの心構えの違いで大きく変わる。身近なことだとケンカ。「なぜ自分は今、怒っているのか」「相手はなぜ怒っているのか」「どうしたら解決できるか」「自分の意志は伝えたか」これらを整理することで格段に争いは減ると思う。

他人の意見を否定するだけでなく、認めて聞いてあげることが大事なこと。

後世の人に戦争の悲惨さや、今回の広島訪問の3日間で学んだことを語り継いでいくこと。

学んだことを多くの人に伝えること。
戦争の被害にあったものを残していくこと。

平和についての事業に参加すること。
戦争体験者の話を広げる。

自分が聞いたこと、感じたことを友達や地域の人に伝えていく。

みんなに戦争について知ってもらい、こんなことはもう起こらないでほしいと思うこと。

広島で学んだことを自分の周りの人たちに伝えていって、戦争を二度と繰り返してはいけないと分かってもらうこと。

多くの人が集まる場所で、戦争など平和についての話をしたり、SNSで発信したりし、平和の大切さを伝えること。

今回学んだことを人々に伝えていくこと。今回、戦争の悲惨さ、そして当時の人々の苦しみを学習し、とても胸が痛んだ。だから、その苦しみを繰り返さないよう、みんなに伝えていこうと思う。被爆者から聞いたことを伝え、戦争を二度と繰り返してはいけないことを伝える。

広島で学んだことを、友達や家族、知人などに詳しく伝える。そして、世界で起こっていることもどんどん自分の中で知って、またそのことも伝えたり話したりする。こうして、被爆者本人のような体験を含んだ話はできないけど、その聞いた話とこの目で見たものを伝えたい。

平和のために、私は今を精一杯生きる。他の国では、まだ戦争をしていたりご飯が食べれない人が、今でもたくさんいる。そう考えると、なんて私は恵まれた生活をしているのだと思う。まだ大人ではないので、他の国へのボランティア活動はできない。だけど、生徒会で行っているユニセフ募金ができる。世界すべてが平和になることを目指して、少しでも平和にしていきたい。

戦後70年が経ち、戦争や核兵器の恐ろしさを忘れかけてしまっている今、一人でも多くの人々が戦争によってもたらされる悲惨さを、しっかり理解すること。そして、それを次の世代に伝えていかれるように、「平和について考える機会」を学校や地域で定期的にもち、風化させないよう働きかけをすること。

相手の国のことも考える。
相手と自分を置き換えて考える。
未来のことを考える。

戦争のことを詳しく知らない人のために話をしていくことや、平和の大切さを語っていくことだと思う。

小さな平和をつくっていくことが大切だと思う。そして、命の大切さをみんなで感じていくことが、平和につながると思う。だが、その小さな平和をつくることは、とても大変だと思う。なので、まずは今回のことを、学校でみんなにしっかり伝えなければならないと思った。

自分のことだけではなく、人のためにできることを考え、思いやりを持つ。
当時の人の心情から、自分たちなりの考え方を示していく。
身近な小さな争いごとや、けんかを防いでいく。

戦争を体験しない、今の私たちにできることは、戦争の体験談を少しでも多く聞き、戦争の罪の重さ、命の尊さを“知る”ことだと思う。なぜなら、戦争を体験したことがない人は、戦争を“知る”ことしかできないからだ。だから、その分さまざまな考えを持ち、それらを共有して、「自らの体験談」を語れる人がいなくなっても、後世に語り継いでいくことが大切だと思う。なので、私もそれを実践していきたい。

「平和」とはとても難しいことである。一人一人の考え方が違うからだ。なので、一人一人が、発言や行動を相手はどのように捉えるのかを考え、行うことが重要だと思う。また、戦争という悲惨な過去を改めて知り、「戦争はダメ」という強固たる意志を持つことも必要だと思う。まず、身近な戦争体験者のお話を聞きたい。

争いを起こさないように、お互いの考えを尊重し、協調していく。

身近なことを言えば、けんかを止める。
犯罪防止の活動をする。

例えば、学校の学活の時間で、戦争時の人々の心情や考え方を、当時の写真や再現ドラマ、資料などで読み取る。そして、今の私たちの考え方で、当時に向き合って話し合い、私たちなりの平和への思いや大切さ、私たちなりの“平和”という言葉の意味を出して、今、それを達成へ導くために何をすればよいか考え、行動に移す。

身近なことから始めることが大切だと思う。一人で大きな行動を起こすことは難しいけれど、自分の平和に対する思いを強く伝えていき、その思いが人から人へ伝わっていけば、やがて世界中を動かすような思いになると思う。世界中の核兵器がなくなり、だれもが安心して「平和な毎日」を過ごせる世の中を望んでいる。